

令和6年度 第2回 学校評価アンケート(生徒編) 後期集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	大山口中学校が好きですか。	89	11	89	11
2	自分を大切にしていますか。	90	10	90	10
3	周りの人を大切にしていますか。	97	3	97	3
4	自ら進んで学習していますか。	75	25	75	25
5	誰にでも優しく接していますか。	92	8	92	8
6	ものを大切にしていますか。	94	6	94	6
7	自分を鍛えようとしていますか。	87	13	87	13
8	先生は個に応じて一生懸命に教えてくれていますか。	90	10	90	10
9	自分から授業に進んで参加していますか。	89	11	89	11
10	授業はわかりやすいですか。	83	17	83	17
11	家庭学習をしていますか。	80	20	80	20
12	学校のルール(基本的な生活習慣)を守れていますか。	94	6	94	6
13	先生は相談に応じてくれますか。	94	6	94	6
14	気軽に話せる友人がいますか。	96	4	96	4
15	気軽に話せたり相談できる先生がいますか。	81	19	81	19
16	清掃は丁寧にできていますか。	91	9	91	9
17	学校行事から学ぶことがありますか。	91	9	91	9
18	生徒会活動や学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	85	15	85	15
19	部活動に意欲的に参加していますか(いましたか)。	87	13	87	13
20	学校目標と学年目標を知っていますか。	83	17	83	17
21	学校からの情報を保護者に伝えていますか。	89	11	89	11
22	先生は生徒個々の特性やニーズに応じて接していますか。	89	11	89	11

令和6年度 第2回学校評価アンケート後期（生徒編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの

設問3「周りの人を大切にしていますか」については97%の肯定的な回答が得られた。また、設問2「自分を大切にしていますか」についても90%の肯定率で4ポイントのアップとなった。道徳科やピア・サポート、日々の様々な場面において、自分を大切にすることと同時に周囲の人も大切にできることを指導してきた。継続して思いやりの心が醸成しつつあることがうかがえる結果となった。また、設問5「誰にでも優しく接していますか」については92%、設問14「気軽に話せる友人がいますか」についても96%の肯定的な回答が得られた。設問2及び3の内容とも相乗し、年間を通して良好な人間関係が構築されてきたと考えられる。

設問12「学校のルール（基本的な生活習慣）を守れていますか」に対しては94%と高い肯定率となっている。ルールを守ることは、生徒全員が気持ちよく生活する上で必要不可欠な要素である。今後も高水準で維持及び向上ができるように、継続的に指導・支援にあたっていきたい。

設問17「学校行事から学ぶことはありますか」では91%の肯定的な回答が得られた。前期と比較して4ポイントのアップである。年間を通して様々な行事に取り組む中で、多くの生徒が達成感を感じたり自らの成長を感じたり、多くの学びを得ることができたであろうと推察される。今後も特色を生かした大山口中ならではの行事に取り組んでいきたい。

2 否定的な回答が多かったもの

前期と同様に主に学習に対する設問に課題が見られた。学習に関する否定的な回答が設問4「自ら進んで学習していますか」について25%、設問11「家庭学習をしていますか」については20%であった。他の設問に比べて高い数値である。しかしながら、前期と比較すると設問4は1ポイントアップ、設問11は5ポイントアップと好転はしている。学習への意欲と家庭学習の習慣は徐々にではあるが身に付きつつあるように思う。

本校では「学力向上」を目標として掲げ授業改善を図っている最中である。学習への意欲をさらに伸ばしていくためには、進んで学習したいと思う授業、わかる授業が大切である。ICTの利活用、対話的な学習や学び合い活動等をさらに工夫していきたい。また、全国や市の学力・学習状況調査等の結果も分析しつつ、引き続き授業改善と家庭学習習慣の確立に努めてまいりたい。

3 総合的に（他の項目や前期との比較から）

設問13「先生は相談に応じてくれますか」に94%の肯定的な回答が得られた。前期と比較するとマイナス1ポイントである。設問15「気軽に話せたり相談できる先生がいますか」では81%の肯定率であり、前期と比較するとプラス2ポイントであった。今後も気軽に相談できる存在であることを認識できるような距離感の実現を目指したい。また、生徒と向き合える時間をさらに確保して、関係性を豊かにしていけるように努めたい。

設問21「学校からの情報を保護者に伝えていますか」については、前期と同様に89%の肯定的な回答が得られた。この設問については保護者の肯定率とも合致している。

設問22「先生は生徒個々の特性やニーズに応じて接していますか」については、89%の肯定的な回答が得られた。今後も一層の生徒理解に努めるとともに、保護者（家庭）とも連携を密にし、生徒を健やかに育ていけるような環境づくりに引き続き努めてまいりたい。

令和6年度 第2回 学校評価アンケート(保護者編) 後期集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	お子様は大山口中学校が好きですか。	93	7	93	7
2	お子様は自分を大切にしていますか。	98	2	98	2
3	お子様は周りの人を大切にしていますか。	98	2	98	2
4	お子様は自ら進んで学習していますか。	69	31	69	31
5	お子様は誰にでも優しく接していますか。	94	6	94	6
6	お子様はものを大切にしていますか。	83	17	83	17
7	お子様は自分を鍛えようとしていますか。	73	27	73	27
8	学校は個に応じた授業を工夫していますか。	72	28	72	28
9	お子様は意欲的に学習に取り組んでいますか。	67	33	67	33
10	お子様は授業がわかると言っていますか。	69	31	69	31
11	お子様は家庭学習をしていますか。	69	31	69	31
12	お子様は学校生活のルール(基本的な生活習慣)が守れていますか。	92	8	92	8
13	学校は保護者やお子様からの相談に丁寧に応じていますか。	94	6	94	6
14	お子様には気軽に話せる友人がいますか。	95	5	95	5
15	お子様には気軽に話せたり相談できる先生がいますか。	77	23	77	23
16	お子様は身の回りの整理整頓ができていますか。	51	49	51	49
17	学校行事はお子様の成長に結びついていますか。	95	5	95	5
18	お子様は生徒会活動や学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	79	21	79	21
19	お子様は部活動に意欲的に参加していますか(いましたか)。	80	20	80	20
20	学校目標や学年目標は保護者に伝わっていますか。	74	26	74	26
21	学校からの必要な情報が保護者に伝わっていますか。	89	11	89	11
22	学校は保護者や地域からの願いに応じた教育をしていますか。	88	12	88	12
23	学校は環境整備や安全への配慮ができていますか。	95	5	95	5
24	学校は生徒個々の特性やニーズに応じた支援を行っていますか。	81	19	81	19

令和6年度 第2回学校評価アンケート後期（保護者編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの

設問2「お子様は自分を大切にしていますか」、設問3「お子様は周りの人を大切にしていますか」の2つの項目に対し、98%を超える肯定的な回答が寄せられた。前期に引き続いて重点目標として力を注いでいる項目に評価をいただいたことは、成果として捉えることができる。保護者の方々に感謝申し上げるとともに、今後も自他を大切にする心を醸成できるように努めていきたい。

設問13「学校は保護者やお子様からの相談に丁寧に応じていますか」においても94%の肯定的な回答が寄せられている。教育相談や保護者面談での応対をさらに丁寧なものとし、日頃からの関係作りを意識した指導に努めていきたい。

設問14「お子様には気軽に話せる友人がいますか」について、95%の肯定的な回答が得られた。これは前期と比較して、4ポイントのアップとなっている。学校生活を送る中で良好な人間関係作りがなされていると考えられる。今後も学習活動や部活動、様々な行事を通して、豊かな人間関係作りがなされるような教育活動を行っていきたい。

2 否定的な回答が多かったもの

最も割合が高かったものが設問16の「お子様は身の回りの整理整頓ができていますか」で、49%の否定的な回答が寄せられている。この項目については前期も同様だった。わずかに1ポイントアップしているが、引き続き学校生活における課題のひとつでもある。

次に割合が高かったものが、学習面に関する設問4、9、10、11である。意欲的な学習への取り組み、授業や家庭学習に関する設問に対する否定的な回答が30%を超えてきている。しかしながら、前期と比較して設問4は4ポイントアップ、設問9は2ポイントアップ、設問10は5ポイントアップ、設問11は1ポイントアップとなっている。本校が抱える重要な課題のひとつとして対策を講じてきた成果が徐々にではあるが表れてきたのではないと思われる。より保護者の方に実感してもらえるように、引き続き学習指導の工夫、授業改善に向けて取り組みを進めていきたいと思う。

設問7の「お子様は自分を鍛えようとしていますか」に対して、前期では保護者の肯定率と生徒の高定率に16ポイントの開きがあったが、14ポイントに縮まった。保護者の期待は依然としてあるものの、生徒の成長を感じられつつあることが推察される。

3 総合的に

後期も学習に関わるいくつかの設問において課題があり、今後も引き続き改善が必要であると考え。学力向上のために、生徒が意欲的に学習に取り組めるような環境と、より「わかる授業」へ向けての授業改善に努めていきたいと思う。

設問21「学校からの必要な情報が保護者に伝わっていますか」について、前期と比較してほぼ同等の89%の肯定率であった。今後も各種たよりや保護者会において、保護者に必要な情報を的確に提供できるように努めていきたい。また、後期にリニューアルされたホームページの発信にも力を入れていきたい。設問23「学校は環境整備や安全への配慮ができていますか」や設問24「学校は生徒個々の特性やニーズに応じた支援を行っていますか」の設問についても肯定的な回答が寄せられた。いずれも前期と比較して、2ポイントのアップである。これらの成果は保護者の方々の協力があってこそのものである。より学校と保護者（家庭）が連携を密にし、生徒を健やかに育ていけるような環境づくりに引き続き努めてまいりたい。